

問題 8.5

次の関数の極値を求めよ.

$$(1) f(x, y) = y^2 - 3x^2y + 3x^4$$

$$(2) f(x, y) = x^2 - 2xy^2 + y^4 - y^5$$

$$(3) f(x, y) = (y - a^2x^2)(y - b^2x^2)$$

(1) $f_x(x, y) = -6xy + 12x^3$, $f_y(x, y) = 2y - 3x^2$. したがって, 極値をとる候補の点は $(0, 0)$. $f_{xx}(x, y) = -6y + 36x^2$, $f_{xy}(x, y) = -6x$, $f_{yy}(x, y) = 2$ であるから, $(0, 0)$ におけるヘッセ行列の行列式は 0. このことから $(0, 0)$ で極値をとるかどうかの判定はできない. しかし,

$$f(x, y) = \left(y - \frac{3}{2}x^2\right)^2 + \frac{3}{4}x^4 \geq 0 = f(0, 0)$$

であるから, f は $(0, 0)$ で極小値をとることがわかる.

(2) $f_x(x, y) = 2x - 2y^2$, $f_y(x, y) = -4xy + 4y^3 - 5y^4$. したがって, 極値をとる候補の点は $(0, 0)$. $f_{xx}(x, y) = 2$, $f_{xy}(x, y) = -4y$, $f_{yy}(x, y) = -4x + 12y^2 - 20y^3$ であるから, $(0, 0)$ におけるヘッセ行列の行列式は 0 である. しかし, 十分小さい k にたいし $f(k^2, k) = -k^5$ であるので, f は $(0, 0)$ の近傍で $f(0, 0) = 0$ よりも大きくも小さくもなる. したがって, f は $(0, 0)$ では極値をとらない.

$$(3) f_x(x, y) = 4a^2b^2x^3 - 2(a^2 + b^2)xy, \quad f_y(x, y) = 2y - (a^2 + b^2)x^2.$$

$a^2 \neq b^2$ のとき ($a^2 > b^2$ を仮定), 極値をとる候補の点は $(0, 0)$. このとき, $b^2x^2 < y < a^2x$ を満たす (x, y) にたしては $f(x, y) < 0$, その他の点では $f(x, y) \geq 0$ (真に 0 以上になる点がある). 以上のことから, $f(x, y)$ は $(0, 0)$ で極値をとらない.

$a^2 = b^2$ のとき, $f_x(a, b) = f_y(a, b) = 0$ の解は $(a, b) = (h, a^2h^2)$ ($h \in \mathbf{R}$). このとき, $f(x, y) = (y - a^2x^2)^2 \geq 0 = f(h, a^2h^2)$ より, (h, a^2h^2) で極小値をとる. (このように, 極値をとる点が離散的ではなく連続的にあらわれることもある.)

問題 8.6

与えられた長さ l の針金を 3 つに切り, 円, 正方形, 正三角形を 1 つずつ作り, その面積の和を最小にするにはどのようにすればよいか.

円の半径を r , 正方形の一辺の長さを x , 正三角形の一辺の長さを y とすると, 仮定から

$$2\pi r + 4x + 3y = l, \quad 0 < x < \frac{l}{4}, \quad 0 < y < \frac{l}{3}.$$

このとき、それぞれの図形の面積の和 S は

$$S = \pi r^2 + x^2 + \frac{\sqrt{3}}{4}y^2 = \frac{(l-4x-3y)^2}{4\pi} + x^2 + \frac{\sqrt{3}}{4}y^2.$$

上の式の最右辺を $f(x, y)$ とおく. 求めるものは $f(x, y)$ の最小値だが, 最小値は極小値でもあるので, 極値をとる点を求める.

$f_x(x, y) = -\frac{4(l-4x-3y)}{2\pi} + 2x$, $f_y(x, y) = -\frac{3(l-4x-3y)}{2\pi} + \frac{\sqrt{3}}{2}y$ より, $f_x(x, y) = f_y(x, y) = 0$ の解は $\left(\frac{l}{\pi+4+3\sqrt{3}}, \frac{\sqrt{3}l}{\pi+4+3\sqrt{3}}\right)$ (この点を (a, b) とおく). $f_{xx}(x, y) = \frac{8}{\pi} + 2$, $f_{xy}(x, y) = \frac{6}{\pi}$, $f_{yy}(x, y) = \frac{9}{2\pi} + \frac{\sqrt{3}}{2}$ より

$$\det \begin{pmatrix} \frac{8}{\pi} + 2 & \frac{6}{\pi} \\ \frac{6}{\pi} & \frac{9}{2\pi} + \frac{\sqrt{3}}{2} \end{pmatrix} = \frac{4\sqrt{3}+9}{\pi} + \sqrt{3} > 0, \quad f_{xx}(0, 0) = \frac{8}{\pi} + 2 > 0.$$

したがって, $f(x, y)$ は (a, b) で極小値をとる.

一方, $f(x, y)$ は 2 次の多項式だから, $f(x, y)$ の 2 次までの Taylor 級数は $f(x, y)$ そのものである. つまり, 定義域全体で

$$f(x, y) = f(a, b) + \frac{1}{2} \left\{ \left(\frac{8}{\pi} + 2 \right) (x-a)^2 + \frac{12}{\pi} (x-a)(y-b) + \left(\frac{9}{2\pi} + \frac{\sqrt{3}}{2} \right) (y-b)^2 \right\}$$

と書ける (右辺を展開してみればよい). (a, b) におけるヘッセ行列の行列式の評価より, $f(x, y) \geq f(a, b) = \frac{l^2}{4(\pi+4+3\sqrt{3})}$ を満たす. したがって, 半径 $\frac{l}{2(\pi+4+3\sqrt{3})}$ の円, 一辺が $\frac{l}{\pi+4+3\sqrt{3}}$ の正方形一辺が $\frac{\sqrt{3}l}{\pi+4+3\sqrt{3}}$ の三角形をつくるときが面積の合計が一番小さく, その値は $\frac{l^2}{4(\pi+4+3\sqrt{3})}$ である.

□ 演習書の解答の訂正 (問題 4.2 について)

(2) 解答の積分領域が問題文と異なってる. 正解は $-\pi$.

(3) $\int_{-2}^1 \left(\int_{y+2}^{4-y^2} xy \, dx \right) dy = \int_{-2}^1 \frac{1}{2} (y^5 - 9y^3 - 4y^2 + 12y) \, dy = -\frac{27}{8}$. 追加問題:

下の図で示した領域 $D_1 (\subset D)$ について, $\iint_D xy \, dx dy = \iint_{D_1} xy \, dx dy$ であることを確かめよ (なぜ積分値が等しくなるのか考えよ).

